

たつのまち
議会
だより No.97



Center of Japan
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中
信州辰野町

令和7年度予算案可決

1月臨時会・3月定例会報告 2
委員会レポート 6
一般質問 9
町民の声 16



辰野町議会
ホームページ



辰野町議会
Facebook



鶴ヶ峰山頂 (いいまちたつの知らせ隊)

1月臨時会・3月定例会

第1回臨時会（1月21日） 第2回定例会（3月3日～19日）

令和7年度予算

新町発足70周年～新たな10年を切り拓く予算～

子どもから高齢者まで、誰もが生き生きと暮らすことができるまち、
町内外の人や企業が集い活気を生み出すまちを目指した予算編成。

一般会計 103億5,000万円

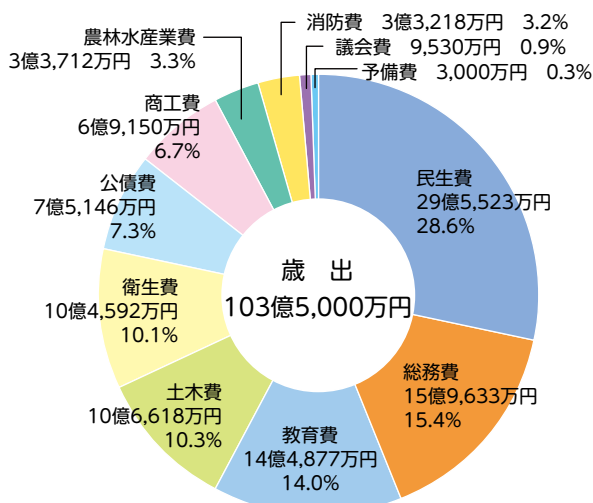
前年度比 7億3,000万円増

特別会計 93億2,181万円

前年度比 10億1,142万円減

予算総額 196億7,181万円

前年度比 2億8,142万円減



令和7年度一般会計歳出目的別内訳

<一般会計予算の主な歳出と質疑>

衛生費 前年度比 882万円増

- ・ゼロカーボン推進補助金、マタニティタクシー、おむつクーポン、出産支援体制補助事業など

問 带状疱疹ワクチン接種が65歳以上の定期接種化が決定されたが、町の対応は。

答 50歳以上に対する接種助成事業は継続する。

農林水産業費 前年度比 19万円減

- ・有機農業推進事業補助金、樹種転換事業、地域林政アドバイザー業務委託など

問 かやぶきの館の経営状況は。

答 物価高騰の影響もあり経営は厳しいが、経費削減に努め、サービス向上に取り組んでいる。

民生費 前年度比 1億9,552万円増

- ・生活困窮者就労支援事業、病児・病後児保育施設運営事務、東部保育園の改修工事費など

問 福祉タクシーの利用率は。

答 デマンド型タクシーが充実してきているが、例年と変わらず70%の利用率。

問 辰野町フリースクール補助金は。

答 信州型フリースクールの認定団体への補助で、県補助金の不足部分について町が補填する。

総務費 前年度比 3億3,999万円増

- ・新町発足70周年記念事業、空調設備設置工事、地域レジリエンス・ソーラーシステムの導入など

問 旧樋口保育園の解体工事費はアスベストの有無でどのように変わるのか。

答 アスベストがある前提で予算計上しており、地方債が使用可能。

土木費 前年度比 1億6,793万円減

- ・道路橋梁費、町営住宅解体など

問 道路改修工事の予算が前年度より減額されている理由は。

答 県事業関連の工事や道路管理者として必要な整備事業が他にあり減額。区からの要望に対する事業費は昨年とほぼ同額。

問 大規模盛土造成地の点検箇所はどこか。

答 大石平、豊南短期大学、新町工業団地の3ヶ所。

教育費 前年度比 3億4,747万円増

- ・スクールバス運行管理、文化財案内看板設置など

問 令和6年度の学童クラブ登録児童数は。

答 西小学校159人、東小学校93人、南小学校52人、両小野小学校54人。

問 米の価格高騰を受けて給食に使う米の確保は。

答 現在は確保できている。価格高騰対策として小学校1食50円、中学校57円を補助していく。

提案された全議案

可決・認定
承認・同意

商工費 前年度比 1,828万円減



- ・サテライトオフィス誘致、商工業誘致など

問 民間企業への地域おこし協力隊配置は、認められているのか。

答 単なる一企業支援ではなく、観光振興や関係人口増加等町の利益になると考えられる場合は、認められている。

消防費 前年度比 5,936万円増



- ・ポンプ車新規購入、耐震性貯水槽の設置など

問 消防団員の公務災害補償の適用範囲は。

答 消防団員はもちろん、町長や団長の要請で出動した一般町民も負傷した場合にも対象となる。

その他の主な議案・審議結果（全会一致で可決）

その他主な議案（要約）	主な内容
令和7年度 各辰野町特別会計予算	上水道、下水道、国民健康保険、国保診療所、後期高齢者医療、辰野病院、情報告知システム、介護保険 ※内容は、委員会レポートをご覧ください。
令和6年度一般会計補正予算（第15号）	松枯損木処理委託料等の補正
令和6年度一般会計補正予算（第16号）	価格高騰特別対策支援金等
令和6年度国民健康保険特別会計補正予算	健康ポイント報償費等に関する補正
病児病後児保育施設の設置管理条例の制定	新設置に伴う制定
手数料徴収条例の改正条例	コンビニ端末機での証明書発行手数料の改定
保育園条例の改正条例	平出保育園閉園に伴う改正
使用料条例の改正条例	西小学校体育館使用料等の改正
辰野町農業委員会委員の任命	農業委員会委員7名（任期4年）

1月臨時会の報告

■令和6年度一般会計補正予算（第14号）

補正総額 9,108万円

- ・低所得者世帯物価高騰対策給付金 5,100万円
- ・省エネ家電等買い替え促進補助金 240万円
- ・原油価格上昇対策福祉施設支援金 225万円
- ・進学・就職等準備支援金 600万円
- ・肥料・農薬・飼料価格高騰緊急支援金 1,175万円

■令和6年度町立辰野病院事業会計補正予算（第3号）

補正総額 2億2,097万円

- ・電子カルテ更新に伴う病院情報システムの構築など

■西小学校体育館長寿命化改修工事、役場庁舎エレベーター設置工事、病児・病後児保育施設建設工事に関する請負契約の変更

陳情審査

受理番号	陳情審査 件名及び趣旨、提出者	本会議	意見書
第1号 陳情	「持続可能な学校の実現を目指す意見書」採択を求める陳情 提出者：辰野町公立学校教職員組合 執行委員長 村澤陽介	採 択 賛成 13 反対 0	提出 あり
第2号 陳情	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 提出者：上伊那地区労働組合連合会 議長 小池悟志	不 採 択 賛成 6 反対 7	提出 なし
	【不採択に反対（高木）】最低賃金は都道府県ごと違うが、生計費は地域差がない。最低賃金の引き上げと全国一律の実現が必要。国の責任で中小企業への支援を拡充すべき。 【不採択に賛成（小澤）】最低賃金の地域間格差は縮小している。最低賃金を1,500円とするため、中小企業、観光業、農林水産業への支援事業を官民連携して実施している。		
	（陳情賛成）古村、吉澤、向山、樋口、高木、小林 （陳情反対）松澤、栗林、牛丸、小澤、林、本田、津谷		
第3号 要望	政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める要望書 提出者：パワハラから職員を守る都道府県民の会連絡会 事務局長 佐々木一也 提出者：政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める長野県民の会 代表 北澤正康		文書 配布
第4号 陳情	国に対し「従来の健康保険証を存続させマイナ保険証との両立を求める」意見書の提出を求める陳情 提出者：上伊那医療生活協同組合辰野支部 代表者 一ノ瀬静子	不 採 択 賛成 3 反対 10	提出 なし
	【不採択に反対（吉澤）】マイナ保険証はトラブルが絶えない。社会的弱者には使い難く解約も多い。一本化は約束違反で個人情報保護にも逆行。手間、費用の為に存続が必要。 【不採択に賛成（津谷）】多くの人が安心して利用できるために、利便性向上の環境整備、セキュリティー強化、高齢者や障がい者にやさしいサポート体制の充実など、注力を求めることが優先。		
	（陳情賛成）吉澤、向山、高木 （陳情反対）古村、松澤、栗林、牛丸、小澤、樋口、林、本田、小林、津谷		

議員提出議案の審議

受理番号	陳情審査 件名及び趣旨、提出者	審議
発議 第1号	辰野町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について ・情報通信技術の活用による行政手続に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等、上位法令の施行に伴う改正。	可決
発議 第2号	持続可能な学校の実現をめざす意見書の提出について ・国においては、持続可能な学校の実現と子どもたちのゆたかな学びの保障のため、学校の長時間労働は正に資する政策実行を求める。 〔提出先〕衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣	可決

町長への要望

総務産業常任委員会

◆駅前開発の推進と下辰野商店街の活性化を

駅前広場を中心とした辰野駅前地区まちづくり基本計画(案)の推進が停滞している。町の『顔』であるとともに、交流を育む玄関口として、辰野駅周辺の整備は、町全体の活性化につなげる大きな課題である。商店街においては、新規開業者等、既存商店の間の理解が進まない状況も見受けられ、お互いの連携を強化し、共に発展を目指す取り組みが求められる。駅前再開発と商店街活性化により積極的に取り組むべき。町長のリーダーシップにより、地権者や商店街関係者との調整、懇談会の開催などを通じ、駅前開発の推進と下辰野商店街の活性化を図り、持続可能な地域社会の構築を強く求める。



町長

辰野駅前の再開発については、駅前基本計画案を作成し意見交換会を開いた。賛成と反対双方の意見が多数あり、計画立案前に地元での議論をもっと重ねていく必要があると認識した。今後、計画の実現に向け検討を深め、地域の合意形成と、地元との意見調整をしていきたい。

下辰野商店街は、新たな業種や業態、新たな商店街の形が求められているのではと感じている。無理にシャッターを開けるのではなく、飛び飛びの商店をつないで、新たな価値観で商店街を作る。老舗も新店舗も閉じたままの店舗もすべて、地域としての「楽しい」を作ろうというトビチ商店街のコンセプトに共感している。辰野町は空き家や空き店舗を活かしチャレンジしやすい町として、町内外の若者から注目されている。町の魅力発信のため様々な場所で活躍している人がいることなども、もっと地元住民に知っていただくよう、町も努めていきたい。

福祉教育常任委員会

◆学童クラブの環境整備と人材確保を

町長

学童クラブでは、希望する全ての児童を受入れているため、定員を超え、施設の拡張や支援員の増員が求められている。特にその状況が顕著な辰野西学童クラブについては、施設拡張を検討したが多額の費用が必要で、早期実現が困難なため、当面は新しい体育館2階のロビーや多目的ルーム等を活用し対応する予定。支援員については、長期的に安定した雇用形態を基本とし、多様な働き方ができるように、採用時に勤務日や勤務時間等の希望を聞き、個々の勤務条件を設定している。さらに募集広告等で、支援員として働く魅力を発信し、多くの人に関心を持ってもらえるよう努める。

◆子育て支援センターの移転を含めた環境整備を

町長

建物賃貸借契約の更新にあたり、維持管理費用の追加が必要となった。引き続き、今後の運営方法や環境整備について検討を進める。



◆辰野病院のさらなる経営改善を

町長

病床機能再編により、増床する地域包括ケア病床の活用と患者受入れ体制の向上に努める。また、外来体制維持のための医師および医療従事者の確保を図る。さらに、外部機関との連携強化に努め、地域に密着した病院経営に取り組む。



総務産業常任委員会

特別会計・事業会計予算審議

辰野町上水道事業会計予算

予算額 7億5,103万円（305万円減）

問 収入から支出を引いた額の赤字についてどのように対応しているか。

答 繰入れ基準に基づいて一般会計から繰入れを行っている、本来は均衡予算とすべきだが、昨今の状況により厳しい状況となっている。

問 水道料金の見直しについて、今後の予定はどうなっているか。

答 令和9年度に次回の料金改定の改定率を経営戦略の見直しとあわせて検討していく。



辰野町上水道第一浄水場

辰野町下水道事業会計予算

予算額 16億383万円（5億2,537万円減）

問 一般会計からの繰入金5億2,900万円の根拠は。

答 令和2年の地方公営企業法適用開始時から同額を継続しており、主に企業債の元利償還のために繰り入れを行っている。

辰野町地域情報告知システム特別会計予算

予算額 1,252万円（90万円減）

令和8年3月のシステム終了に向けて、周知用のチラシ作成費や新聞掲載費用の増額、基地局撤去のための基金積立。

問 新システムの検討状況は。

答 LINEやホームページ、メールによる情報配信への移行。緊急通報機能については民間サービスの活用を検討中。防災情報については、個別受信機の導入も検討している。保健福祉課、総務課、住民税務課の3課が連携して移行計画を進めており、特に民生委員の協力を得て独居世帯等の実態調査も実施中である。

※採決の結果、特別会計・事業会計予算の3議案は、全員一致で可決すべきものと決しました。

条例等審査

辰野町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告などに準じ、一般職の職員の給料月額などの改正。

辰野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び辰野町特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例

期末手当の支給月数を改定するための改正。

辰野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

会計年度任用職員の待遇改善を図るための改正。

辰野町手数料徴収条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードの利用促進を進めるため、通信端末（マルチコピー機など）を使った証明書発行手数料が50円に改正。

問 上伊那の市町村の手数料の状況は。

答 箕輪町が令和5年4月から既に50円で実施しているが、他の市町村はない。



※採決の結果、条例審査の4議案は、全員一致で可決すべきものと決しました。

陳情審査

陳情第2号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

◇審査における主な意見

- ・地方の人口流出を防ぎ、労働者の生活を改善するために全国一律制が重要。
- ・最低賃金法でも地域間格差是正の努力がある。
- ・アンケートによると、中小企業の80%が1,500円への対応は困難と回答している。

※採決の結果、賛成2・反対4となり、不採択すべきものと決しました。

福祉教育常任委員会

特別会計・事業会計予算審議

■辰野町国民健康保険特別会計予算

予算額 18億715万円（2億1,965万円減）
基金繰入金4,286万円を計上。令和6年度より新たな税率で進めているが、さらに次の税率改定を視野に決算状況を確認しながら検討を進める。

■辰野町国民健康保険診療所特別会計予算

予算額 429万円（78万円減）

問 旧診療所建物の解体はどのように進めるか。

答 令和8年度以降に解体予定。

■辰野町後期高齢者医療特別会計予算

予算額 3億8,553万円（441万円増）
高齢者数が増えたため前年度より増加。

■町立辰野病院事業会計予算

予算額 25億4,272万円（2億4,783万円減）
一般会計からの繰入金は4億5,000万円。

問 経営改善の計画は。

答 長期計画の具体化に向け、地域包括ケア病床の増床、365日リハビリ、患者満足度調査の実施、開業医との連携強化を進める。

意見 医師確保と小児科診療の拡充を。

■辰野町介護保険特別会計予算

予算額 22億1,475万円（1,825万円減）

問 高齢者相談支援センターの名称は浸透していないようだが。

答 地域包括支援センターの名称が分かり難いということで変更したので知っていただけるように周知に努める。

※採決の結果、特別会計・事業会計予算の5議案は、委員全員一致で可決すべきものと決しました。



病児・病後児保育施設竣工式

条例等審査

■辰野町病児・病後児保育施設の設置及び管理に関する条例

施設の設置にあたり条例を制定するもの。

■辰野町保育園条例の一部を改正する条例

平出保育園と東部保育園の統合により平出保育園を閉園するため、条例の一部を改正するもの。

■辰野町使用料条例の一部を改正する条例

辰野西小学校体育館に空調設備が設置されたことに伴い条例の一部を改正するもの。

■債権の放棄について

- ・債権の名称 町立辰野病院診療費一部負担金
- ・債権放棄19件 83万5,554円

※採決の結果、条例等の4議案は、委員全員一致で可決すべきものと決しました。

陳情審査

■陳情第1号 「持続可能な学校の実現をめざす意見書」採択を求める陳情

◇審査における主な意見

- ・働き方改革は、教育現場を見る限り進んでいない。
- ・教員のなり手不足は深刻。教員の業務負担軽減を進める施策は必要。

※採決の結果、全員一致で採択すべきものと決しました。

■陳情第4号 国に対し「従来の健康保険証を存続させマイナ保険証との両立を求める」意見書の提出を求める陳情

◇審査における主な意見

- ・更新手続きが困難な方もいる。両方選べると高齢や障がいのある方にとっては使いやすい。
- ・マイナ保険証を所持していない人には資格確認証が交付されているので問題ない。
- ・従来の健康保険証は偽造できる等の危険性がある。

※採決の結果、賛成1・反対5となり、不採択すべきものと決しました。

総務産業常任委員会



荒神山テニスコート周辺
照明LED化改修工事



平出保育園前
上野川橋補修工事



平出団地解体工事

現地調査をした令和7年度の主な事業

福祉教育常任委員会



町民会館のホール
天井照明LED化改修工事



辰野中学校の給食室床改修工事



東部保育園の駐車場整備工事

町民と議員のタウンミーティング開催

宮木区

開催日時 1月30日(木) 午後3時
参加人数 区民29人 議員14人



会場：宮木区公民館

◇主なディスカッション内容

1. 防災人材の育成
2. 防災設備へのWi-Fi設置
3. 空き家、耕作放棄地について
4. 外国ルーツの住民が住みやすい町づくり
5. 辰野病院に小児科医師の常駐を など

区長感想

区民が多く集まり強い思いや意見を聞く良い機会になった。区で対応できないこともあり要望を出していく。

下辰野区

開催日時 2月2日(日) 午前10時
参加人数 区民17人 議員13人



会場：下辰野公民館

◇主なディスカッション内容

1. 高齢化に伴う役員の選出困難
2. 辰野駅前開発の進捗状況について
3. ほたる童謡公園を道の駅にしては
4. 地域おこし協力隊の活動の周知を
5. 有害鳥獣被害について など

区長感想

役員会議だけでは聞けない様々な意見を聞くことができた。区民が持っている問題を共有でき有意義だった。

詳細は、町HP内の辰野町議会にて掲載いたします。次回開催区が決定次第、新聞などで告知いたします。

新年度の 基本方針と 傾注する事業は

町長

住み続けたい町の
実現・行財政改革



林 政美 議員

問 新年度の重点施策は。

町長 こども・子育て環境の整備、女性への就農支援、DXの推進、二酸化炭素排出削減の取り組み、町有施設の大規模改修等を行う。

問 第6次総合計画後期基本計画策定の進め方とポイントは。

課長 4年間の進捗状況や成果・課題を総点検し、アンケート調査を基に骨子を作成、策定委員会の立上げ、審議会を開いていく。人口減少対策を踏まえた中長期的な戦略を立て、誰もがいきいきと暮らすことができる町、人が集い活気を生み出す町を目指す。



大城山の山頂から見た辰野町

辰野町農業振興ビジョンの進捗状況と展望は

課長 農業者の育成事業では、認定農業者が4名増え17名となっている。担い手農業者へは農作業機械導入補助事業、農業経営体育成事業等により農機導入支援を行った。安全・安心な農産物の供給では、有機農業の推進。魅力ある農業の創生と推進では、農業に親しめる環境整備に努めた。豊かな農山村環境の維持発展では、農地パトロールや農地の維持保全を目的としたソルガムやエゴマ等の栽培普及活動を進めるなど幅広い事業を展開し、徐々に成果は現れている。今後は、後期ビジョンの策定を進め、前期の成果と課題を整理し、農業の担い手対策と農地の地域計画の実行に向け取り組む。

町道改修工事の状況と今後の計画は

課長 区からの要望等を受け、必要性・緊急性や諸般の情勢、優先順位等により事業仕分けし道路の改修を進めている。道路改修等には、地域住民の強い要望と合意形成が必要となる。道路舗装の長寿命化や側溝、橋梁等の改修等も視野に計画的に取り組む。

その他 人口減少・少子化対策について

職員のメンタル ヘルスのケアは

町長

相談に基づき必要に応じて
産業医に繋いでいる



本田 光陽 議員

時間外勤務の縮減は

問 職員も人手不足の現状で、住民側からのニーズも多様化しているが、時間外勤務の縮減への取り組みは。

町長 業務効率化促進プロジェクトで会議改革を全職員対象に拡大し、実践を通じて時間に対する意識を浸透させるよう取り組んでいる。

問 各課の管理職は、どのような形でそれぞれの仕事の進捗具合や進め方の把握に努めているか。

課長 人事評価制度の中で年度の中間と期末に上司との面談を行っている。業務の進捗と職員の状況を把握し、業務分担に反映している。

問 過去数年間の休職者数と、その理由は。

課長 長期休職者の過去5年間の合計人数は、育休53人、傷病療養は18人。

傷病療養の内、心因性が6割強で、対人関係の悩みが主な理由。

問 辰野町ハラスメント防止に関する宣言は、時代背景的にも重要なことであったと認識してるが、職員のメンタルヘルスのケアについての対応は。

課長 本人や所属長からの相談に基づき、職員係が面談を行い、必要に応じて産業医に繋ぐ対応を行っている。休職中の職員については回復傾向になった段階で本人の希望を聞き、リハビリ出勤を行い職場環境に徐々に慣らしながら復職支援をしている。

DX推進の取り組みは

問 課の発足から3年間の取り組みで、職員の働きやすさという面からどのような変化があったか。

課長 令和6年度新たに80を超えるオンライン申請の様式を公開した。職員側では申請を電子データで受け取ることで、紙申請書からのデータの転記や、入力作業、紙に印刷する作業を省き、手続きを電子的に進められることで業務効率の改善が図られている。



総合窓口の新設された自動交付機

古村 幹夫
こむら けんお
議員



辰野町内における 防災士資格認証者 の人数は

町長

私も含めて65人の
認証者を把握

問 資格認証の費用を町から助成を受けた方は何人か。

町長 平成26年度から令和5年度までに40人に費用助成を行った。

問 防災士として認証されている方に、どのような役割を担ってほしいと考えるか。

課長 防災の基本理念である自助、共助、協働を原則に、家庭や日常の職場生活場所等で、防災力を高める自主的な活動を期待している。地域では消防団や自主防災組織などもあるが、防災士として日頃から地域住民との信頼関係を築き、災害時には住民同士の連携にリーダーシップを発揮することに期待する。

湯にいくセンターの臨時休業の経緯は

課長 施設内で利用された処理水を浄化するポンプが老朽化により故障し、2月17日に営業を停止。新しい設備機材の入手に日数を要し、22日朝から営業再開した。

問 施設全体の老朽化に対し、全面的な改修が必要では。

課長 まずは予算の範囲内で修繕を実施。指定管理者と情報共有を密にしながら維持管理に努めていきたい。

問 防災機能を持たせた改修を検討しては。

課長 被災地の例などを参考に、財源と合わせて今後研究していく。



建設から30年を迎える
湯にいくセンター

ほたるドームの空き時間を高齢者等の 利用のために開放しては

課長 年間を通して70%から90%の利用率があり、複数の団体が昼間のいずれかの時間帯でほぼ常時利用している状況。現時点では難しい。

会議の開催通知などを郵送からメールなどに 切り替えることはできないか

課長 一部の会議通知は既にメール化している。今後、関係者の同意を得ながら、段階的に電子メールなどの方法に移行していきたい。

津谷 彰
つや しょう
議員



避難所の 環境整備は

町長

国の生活環境創生
交付金を活用して推進

被災者の人権を守るために避難所の整備を

問 トイレ、キッチン、ベッド・バス整備の計画は。

課長 自動ラップ式簡易トイレ95セット、ポータブル電源、ワンタッチ簡易ベッド、パーテーションや、冷暖房スポットエアコン15台を購入予定。キッチンは移動販売車との協定で対応し、バスは既存施設との連携を基本とする。

問 キッズスペース設置の必要性と課題は。

課長 子どもたちの健全な育成を確保するためには重要だが、検討は進んでいない。学校や保育園が避難所に使用できる場合には、スペースを確保することも可能と考える。また、子供たちを見守り、遊びや学びを支援する体制も用意する必要がある。

防災に関する人材育成の取り組みは

問 外国にルーツのある方への防災対策は。

課長 日本語教室で防災教室を年2回、やさしい日本語での防災講座や煙体験を実施。多言語対応の防災マニュアルや避難訓練への参加促進を検討中。

問 町における防災教育の取り組みは。

町長 東日本大震災の避難生活や、能登半島地震の被災地支援の中でも、中学生が大きな力になった。現在、辰野中学校と教育委員会、防災総合コーディネーターの3者で、防災教育のあり方の検討に着手した。

リチウムイオン電池の廃棄方法の啓発は

問 リチウムイオン電池による火災の発生状況は。

課長 町内の収集運搬中に2件、上伊那クリーンセンターで3件、クリーンセンター八乙女で24件の火災が発生。令和2年度から増加傾向。

問 リチウムイオン電池の正しい廃棄方法の啓発は。

課長 ゴミ資源物の分別と減量の手引きの改訂、各地区での分別方法説明会での啓発、特にタブレット端末やモバイルバッテリー等の製品に焦点を当てた啓発を実施。



町の啓発チラシ

その他 小1の壁支援の推進について

国道153号の歩道、通学路としての危険認識と安全確保

町長

深刻な状況は再認識
調査結果と意見は参考



小林テル子 議員

問 新町区通学路実態調査（65人58世帯）回収率73.3%からわかった国道の歩道が危険で通学路として選ばれていない。迂回路も狭く交通量が多く、危険な実態についてどう感じたか。

教育長 通学路の具体的危険性がわかった。学校通学路として危険性を検証・把握し、子どもたちへの対応を進める。根本的にはこれまで以上に関係機関、県に強く改良要望していく。

問 安全確保に向けた具体的な計画提案は。

課長 地区で対策委員会を立ち上げ、町・地区で現場の確認、危険箇所を絞って伊那建設事務所に要望していく。



国道153号の歩道

要望 区としても動きを作っていく。町の強い関与、示唆を望む。

川島小学校閉校後の利用は

問 検討委員会の立ち上げは。

課長 令和7年度、町に検討委員会を立ち上げ住民の意見や提案をどう取り扱うか議論する。

意見 川島地区の歴史・地域性を生かし、森林活動拠点、学びの場、木育、木を使ったこどもの遊び場の利用検討をテーマの一つとして提案する。

若者の居場所を

問 近隣市町村で中学生、高校生が放課後利用する居場所（スペース）が出来ている状況は把握しているか。

教育長 近隣8市町村の状況は確認している。令和7年度学習室を開放するのは現在出来る対応。

問 辰野高校3年生から出された要望、地元高校生の学習実態についてはどう受け止めたか。

町長 要望は承知している。住民の要望も、若者の居場所やカフェが欲しいとの要望も聞いている。安全面を考慮どこに場所を選定するかが一番の課題。適した場所があれば積極的に検討したい。

老朽化した公営住宅の適切な管理・解体は

課長 公営住宅の公共施設総合計画に基づき、老朽化した公営住宅について解体をしている。

自衛隊への個人情報提供をやめる考えは

町長

やめる考えはない



高木智香 議員

自衛隊への個人情報の提供は

問 提供理由、対象者、提供内容は。

課長 自衛官等募集のための個人情報提供は、市町村の法定受託事務とされているため提供している。対象者は町内に住民登録のある日本人で、提供する年度に18歳と22歳になる方。提供内容は、氏名、住所、生年月日、性別。

問 提供について対象者へ郵送で周知する考えは。

課長 自衛隊への提供に限らず、法令に基づき正確な手続きをとって個人情報を提供することがある。適正な事務執行の一環と考えているため、郵送する考えはない。

問 令和7年2月に新設された除外申請制度とは。

課長 個人情報の提供を望まない方へ配慮して新設した。申請があれば提供資料から除外する。

要望 自衛隊から郵送された案内をみて自衛官に応募した人は1%。提供が本当に必要か再検討を。

学童クラブ支援員の募集方法を見直す考えは

課長 勤務時間や勤務日数について柔軟に対応する。支援員の魅力を伝える募集広告も検討する。

要望 辰野高校や豊南短大でもアルバイト募集を。

こども誰でも通園制度の実施は

問 試行実施開始時期、実施場所と利用方法は。

町長 令和7年6月頃に新町保育園で実施予定。町内在住の生後6か月から3歳未満児が対象。利用要件は問わず、月10時間まで、1時間400円で利用可。



新町保育園

問 本格実施後には、簡単な申込みで利用できるとされているが、事前面談は必ず行う予定か。

課長 初めて利用する場合は必ず事前面談する。

問 月に10日まで利用できる一時的保育との併用は可能か。

課長 併用は可能。

要望 電話と対面以外の相談ツールとして、町独自のLINE相談窓口開設を。

その他 5歳児健診の実施について



辰野病院の経営方針について町長の見解は

町長

地域住民にとって守るべき病院と認識している

町長 一番の問題は医師や医療従事者の確保。院長や事務長と共に県などに働きかけていく。

問 小児科の充実を望んでいるが、午後診療はできないか。

事務長 現在の常勤医は、平成30年からお願いしている。午後は乳児検診や予防接種等を担っているため午後診療は難しい。

問 順番待ち時間の対策は。

事務長 過去にも十分な検討をした上での時間設定のため変更はできない。担当看護師が声掛けをしている。



問 他の受付方法の検討を。 辰野病院小児科

事務長 当日受付の方は各科窓口で、診療予定時間を確認することをお願いしたい。

公の施設のWi-Fi設置と西小体育館非常用電源設置は

問 老人福祉センターでWi-Fi利用が可能にならないか。

課長 機能移転が予定されているため、設置はできない。他の施設利用を。

問 西小体育館は長寿命化工事が終了し災害時の避難所としても活用できるようになったが、Wi-Fiや非常用コンセントなどの設置は。

課長 令和元年度、すべての学校に、学習環境目的にWi-Fiは設置済みである。電源が落ちてでも携帯用ルーターで使用可能となる。また、体育館非常用電源はガス式と太陽光発電の2方式を備えた。

外国籍町民の防災対策で地域参加を

課長 住民税務課の窓口では転入手続きの折に、やさしい日本語で地域のことを伝えるようにしていく。また区の意向を調査し、区での「やさしい日本語出前講座」を検討する。

中高生の居場所を

教育長 中高生の居場所を望む声が多くなっているため、緊急的に町民会館エントランスホールを飲食可能なくつろぎの場として、また中高生の学習の場として開放した。4月からは町民会館104号室も学習の場として開放する。



板沢最終処分場問題、経験・知識の継承を

町長

今回得た経験や知識を継承することは大変重要

問 諏訪市後山地域の開発に関して、塩嶺累層の存在など、町も注目していく必要があるのでは。

町長 今回の経験、知識は無駄にすることなく、活用の仕方についても指導していく。

終戦80周年に当たっての取り組みは

課長 「草の根の語る私の戦争体験」のCD化、広報たつのでの慰霊碑紹介、戦争関係資料の募集・展示、戦傷病者史料館・しょうけい館の資料展示などを行う。

問 満蒙開拓の啓発を。

課長 辰野町は上伊那で唯一、分村開拓団を出している。辰野町も満蒙開拓にしっかりと関わっていることを伝えていく。満蒙開拓平和記念館のパネル展示、館長による講演会を開催する。



満蒙開拓の犠牲者を含む慰霊碑

森ビジョン推進委員会の役割は

課長 具体的目標が立てられる項目については、目標を定めながら、全体的なビジョンの進捗について検証していただく。

問 森林の維持管理を担う民間事業者の状況は。

課長 事業者は充分ではない。町として何ができるか、事業体とも情報交換しながら検討する。

問 団体有林や共有林整備の課題は。

課長 多くの森林面積を有する山林団体の役割は大きい。状況を把握し、必要な対応を検討する。

ハラスメントの防止に関する宣言の背景は

町長 ハラスメントは個人の尊厳、人格を不当に傷つける許されない行為。全ての職員が互いに尊重し合える職場環境づくりに努める。万一疑わしい事案が発生した場合には、定められた手順に沿って、十分に調査し、厳正に対処していく。

問 公益通報制度の運用、体制は。

課長 総務課長や他の部署職員に従事者に定め、上伊那公平委員会も通報先に考えている。

意見 ハラスメントや公益通報制度の窓口は複数設け「通報者に安心」を。

デマンドバス おのりーなの 実証運行の結果は

町長

利便性を実感できる
交通施策へ活かす



うしまる
しげお
議員



おのりーなの実証運行から得た課題は

問 実証運行で把握した住民ニーズは。

課長 両小野診療所への通院、買い物や公共施設への移動が多かった。特徴である事前予約の煩わしさが利用者減少の原因でもあった。

問 定時定路線再検討への課題は。

課長 町中への移動よりも両小野診療所への通院や塩尻市の「すてっぷくん」への接続を優先する。バス停のなかった地区や両小野中学校付近への延伸などの見直しを検討する。

公民連携事業による旧小野図書館の活用事業は

問 利活用の検討は。

課長 閉館後は、管理を図書館係から文化係へと移管し、建物の維持管理と活用方法について検討を重ねてきた。



旧小野図書館

問 住民への周知は。

課長 選定された事業者に事業説明の実施を義務づけている。北小野地区の住民にも参加してもらえるように調整する。

生徒・児童の良い学びの場とは

問 生徒・児童数減少の教育現場への影響は。

教育長 小・中学校ともに、複式学級になると専科教員が付けられなくなる。事務員や栄養士も学級数で正規採用なのか会計年度任用職員なのかが変わってくる。

問 良い学びの場として何が必要か。

教育長 異学年や同学年の関わりで、共に学び合い遊び合うには、ある一定の学びの集団が保障されることが必要。ICTやAIが学校現場に入ってきているが、五感を使った実体験を保障したい。

辰野美術館の役割は

問 文化的な体験格差をなくす取り組みは。

教育長 都市部の博物館や美術館と同様とまではいかないが、全国レベルの芸術家や芸術作品を鑑賞する機会を提供できていると考える。

公約実現に向け 3期目の意欲は

町長

いつかは表明して
いかなければいけない



ほし
のたかみ
議員



公共交通の未来は

問 デマンドタクシーを学生も利用できるように稼働時間を見直す考えは。

課長 通学時間に運行出来ず、公共交通利用に制約があるのは認識している。関係課と協議を進め、潜在するニーズの把握をし、該当地区にてアンケート調査の実施を検討。

問 オンデマンドバスが運行できない理由は。

課長 タクシーからバスへの移行は運賃面でメリットがあるが、ドアツードアに対応出来ない。2種免許保有者の人材不足と、対応可能な交通事業者の新規参入は、事業者の撤退など別の問題がある。



現行のデマンドタクシー

近隣のデマンドバスの成果は魅力的な運行手段と認識している。

要望 デマンドタクシーとデマンドバスが走ることが理想。住み続けたい町の公共交通の整備を。

問 町が描く公共交通の姿は。

町 「社会の変化に対応した持続可能な公共交通」「誰もが利用しやすい公共交通」「みんなが支える公共交通」に取り組んでいく。

オーガニックビレッジ宣言後の現状は

問 慣行農業・有機農業への町の考えは。

課長 慣行栽培を否定するものではない。付加価値を求める消費者に向けた販売を希望する生産者を増やし、農業振興に繋げたい。

問 土壌、生産品の町検査基準はあるのか、また有機農業、有機野菜の町基準は。

課長 町独自の基準は無い。県の認証制度と同様の基準を準用。町基準は町農業振興センターで策定を検討していく。

問 安全安心な食材の定義は。また宣言後の環境整備は。

課長 給食は学校側の安全基準に沿った食材。今後、安全安心の定義について決めていきたい。栽培過程での基準も明確化していきたい。

栗林 俊彦
議員



辰野駅前地区まちづくり事業の早期実現に向けては

町長

地域の合意形成に向けた取り組みを進める



辰野駅前地区まちづくり事業予定地

問 商店街の空き店舗に「まちなかオフィス」を新設し、地域おこし協力隊の誘致事業の強化を。

課長 今ある施設の有効利用で既存のトビチのオフィスをPRして、サテライトオフィスの誘致に力を入れる。さまざまな機能をプラスして展開する「まちなかオフィス」は、次のステップで考える。

問 辰野駅ビルをコンバージョンにより地域防災交流施設として活用すべきでは。

課長 建物はJRと区分所有のため町で改修できないが、災害備蓄品の保管場所として一部を活用している。災害発生時や平時の訓練の際、地域と一緒に活用できる防災拠点とした運用も検討する。

出生数100人を目指した少子化対策は

町長 子育て世帯を取り巻く環境の変化、多様化に対応できる子育て支援体制を整えながら、安心して子育てができる環境づくりを推進していく。

問 社会増減0人を目指したUターン促進は。

課長 移住・定住・関係人口の推進策になっている空き家バンク制度や定住促進奨励金などの補助金制度に力を入れて、社会増減ゼロを目指す。

生活環境被害と野生動物対策は

問 農作物被害対策にAI監視システムの導入は。

課長 カメラやセンサーで、ワナの稼働状況を遠隔感知・捕獲通知など実用的なICT活用機器を調査し、電気柵や捕獲檻、緩衝帯整備と複合的に活用。

問 カラスの集団化に伴うフン害の解消は。

課長 カラスが訪れる場所の木の伐採、巣の除去。動物が嫌がる超音波を発生する機器などを検討。

問 野良猫の繁殖問題対策としてのTNR運動と不妊手術補助制度の拡張、活動助成金の設立は。

課長 野良猫の捕獲(Trap)・不妊去勢(Neuter)・戻す(Return)活動は、多額の費用がかかる。補助金の予算化は、近隣市町村の状況や地域の野良猫の状況等を見ながら研究する。

吉澤 光雄
議員



小学校統合は当事者の声を聞いては

教育長

パブリックコメントは実施する

問 小中学校あり方検討委員会は、南小、東小、西小を何らかの形で集約が必要と結論。学校小規模化が「子どもにとって好ましくない」としている。小規模校は、学力が劣る、問題行動が多いというデータが有るのか。地域に小規模校があるメリットが考慮されていないのでは。

教育長 そのようなデータはない。地域に学校がある重要性は認識している。子どもが急速に減るので辰野モデルを考えたい。

問 小規模校の優れた実績が町内にある。40年間使う予定で5億円かけた南小改修の成果を無駄にして良いのか。



大規模改修した南小

教育長 南小を無くす話は出ていない。

町民入浴割引を

問 中川村は望岳荘入浴村民割引を行い、1カ月で村民の42%の延利用者があった。町民支援、施設の有効利用、経営改善の為に、町の入浴3施設に町民割引をしては。

課長 予算末計上の国物価高騰対策交付金は525万円。提案を含め、より効果的な事業を検討したい。

区への支援強化を

問 区の財政、労力負担軽減は急務。宮田村は家庭への配り物を役場で1セットに組んで下ろしているが、町でも出来ないか。

課長 各区の実情や要望を踏まえ研究したい。

問 南箕輪村は区長の事務支援のため、村の費用で支援員を区に派遣する。国から全額財政支援がある制度を使っているが、町でも出来ないか。

課長 他市町村の取組みを研究し、検討したい。

下水管破損事故防止は

問 町の下水管の現状、点検・整備計画は。

課長 管は延長175kmで最大直径70cm。耐用年数に達したものは無い。毎年順次点検しているが異常は見つかっていない。今後計画的に更新していく。

その他 防災士連絡協議会について

統合後の川島小学校の跡利用検討委員会はいつ設置されるか

町長

町主体の検討委員会
5月初旬に設置する



小澤睦美 議員



問 川島小学校統合後の施設利用について、使用料を徴収し貸し出す等検討されているのか。

課長 施設全体を貸し出すとか、教室等の使用申し出について、使用料賃料等については、現在のところ決まっていない。今後立ち上がる町主体の検討委員会において検討していきたい。

令和7年度予算編成方式変更の導入目的は

問 予算の算定方法を、「積み上げ方式」から「枠配分方式」に変更したことによる成果は。

課長 予算規模の膨張には一定の効果があったと考えている。行政サービスを実現性の可否、効果の有無等につき、より熟考したものが上げられてきた。



川島小学校閉校式後の
バルーンリリース

公の施設の指定管理者の指定状況は

問 かやぶきの館及びその周辺施設の運営状況は。

課長 直近の宿泊・会食・日帰り入浴を見た場合、宿泊は前年比増であるが、他は減である。コロナ禍の影響が落ち着き、利用者数も回復しつつあるが、以前の7割程度になると見込まれる。

問 町長は、かやぶきの館をどのように良くしていきたいのか。

町長 地域の農家や住民の皆さんとのつながりを深めるとともに、町内の有機農業推進の取組み団体と連携し運営に生かしていきたい。そして、町の宝として多くの町民に愛されるよう運営したい。

辰野町立小中学校のあり方は

問 川島小学校統合後に残る3小学校について、集約が検討されている。出生者数や教育環境からも、いつまでに集約したいという見解を明らかにする時期にきていると思うが。

教育長 今回のあり方検討委員会では、令和10年以降のできるだけ早い時期の実現と思っている。その際には、教育委員会だけで決めるわけにはいかない。このことは、町のあり方そのものにも関係してくる。

庁舎エレベーターが完成

自動ドアも追加され、より利用しやすい役場になり
庁舎3階の議場へのアクセスが向上しました



役場庁舎エントランスから町民ホールへの
扉が自動ドアになりました



1階エレベーター横にベビールームを設置
授乳やおむつの交換ができます



落ち着いた内装の内部



内部に設置されている防災チェア
非常用トイレとして利用でき、非常救
援物資が収納されています

ぜひ議場へお越しください



古田 龍治さん

中山間地にある故郷の集落に戻って50年、県内の企業に勤めること45年、退職して5年、齢も重ねて〇5歳になる。今年は区切りの良い年回りか。急速に進む少子高齢化の波、最近子供の姿を見るのは稀、空き家も目立ち始めポツンと5軒屋もそう遠くない話かも。さあ春だ、営農の仲間十数名で農地の維持に米とそばの栽培に取り組むぞ。

コロナ禍の影響もありますが、人とのコミュニケーションが減りました。オンラインは便利但也有りますが、いざという時に面に向かって相談できることは何よりもあんしんできます。町民と議員のタウンミーティングで地域住民と対話できる機会をつくっていただき有難いことです。これからも町民と触れ合って心から安心して暮らせる町ズ栗(まちづくり)を。



小澤 綾さん

少子高齢化が進み辰野町の人口も年々減少しています。様々な施策を行い対応していただきたい。町営バスの運行や公共交通の整備を進めれば町民が便利になると思います。また、空き家や施設を有効活用して、情報発信をし魅力ある町・住みやすい町にしたいと思います。

議員が町に出て聞きました

これからもみんなの声を聞きにいくよ

町民の声



辰野町イメージキャラクター ぴっかりちゃん

テーマ 町制70周年への期待



竹入 洋子さん

昭和30年代、国道は砂利道で国道拡幅改良工事が始まった頃でした。道路幅を広げるため両側の家は曳家をするなどの工事が行われており、学校の行き帰り興味深く見ていたことを思い出します。高度経済成長を実感し活気がありました。辰野町は災害も少なく平穏に暮らせる日常に感謝し、豊かな自然が次世代へとつながる事を願っています。



小澤 幸信さん

次回定例会のご案内

- | | |
|-------|----------------------------|
| 開 会 | 5月26日(月) |
| 一般質問 | 6月 5日(木)・6月 6日(金) |
| 委員会審査 | 6月 9日(月)・6月10日(火)・6月11日(水) |
| 閉 会 | 6月16日(月) |

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。
3階議場へはエレベーターをご利用になれます。

一般質問を役場町民ホールとYouTubeへの生配信でリアルタイムに傍聴できます。

6月
定例会予定

編集後記

3月定例会では、新年度予算が審議・可決されました。辰野町が町制施行七十周年を迎える節目の年にあたり、地域の歩みと未来を見据えた審議が行われました。今後も町民の声に耳を傾け、丁寧な議会活動に努めてまいります。

議会広報編集委員会 本田 光陽

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。